

2022年度 阿南高専出前講座（第25回，第26回）



エスシー企画株式会社
山 村 猛
Yamamura Takeshi
(建 設 部 門)

1. はじめに

平成22年度に始まった「阿南高専出前講座」も今年で12年目を迎え、これまでに24回の講座を行ってきました。今年度は、コロナウィルス感染症も落ち着き、例年好評を頂いているワークグループ形式による講座を開催することとなりました。

本年度の講座は、4年生において、「7月はじめにインターンシップ先を学生が決めるために、リアルな情報を学生に知らせたい」という、高専の要望を受けて、従来より早い時期での開催となり、建設コースの3年生，4年生を対象として各1回の出前講座を同日にて開催しました。

ここに、ご支援をいただいた支援スタッフの皆さまにあらためてお礼を申し上げ、今年度の出前講座の実施報告をいたします。

2. 概要

(1) スケジュール

今年度の出前講座は、阿南高専との1回の事前協議を踏まえて、全2回の出前講座を実施しました。出前講座の全実施内容は下表に示すとおりです。

表-2.1：出前講座の実施内容

事前協議		
第1回	日 時	2022年5月9日 13:00 ~ 14:00
	参加者	支援スタッフ2名 (山口委員長, 山村理事)
	目 的	実施方針, 開催日時, 対象学生等の確認
出前講座		
第25回	日 時	2022年6月28日 12:55 ~ 14:20
	人 員	支援スタッフ 20名 (内:技術士補:1名)
	対 象	建設コース3年生 (学生26名, 内女子8名)
	主 題	『技術士の働く社会を知り, 技術士と実際に話してみても、自分の進路と資格取得の意義について考えてみよう。』
	実施内容	■ミニ講義「私の仕事」: 森会員 ■グループワーク
第26回	日 時	2022年6月28日 14:30 ~ 16:00
	人 員	支援スタッフ 20名 (内:技術士補:1名)
	対 象	建設コース4年生 (学生24名, 内女子4名 休み1名)
	主 題	『技建設業界の最前線で活躍する技術士と実際に話してみても、建設業界の仕組みを知り自分の進路について考えてみよう。』
	実施内容	■ミニ講義「建設業界における私たちの役割」 : 奈加会員(高専OB), 藤本氏(技術士補, 高専OG) ■学生発表「学生によるコンサルタントに関する調査結果」 ■グループワーク
反省会		
日 時	2022年6月28日 16:00 ~ 17:00	
会 場	図書館棟1F 交流ラウンジ	
参 加 者	22名(技術士:19名, 高専教官:2名, 技術士補:1名)	

支援スタッフとして、延べ20名の方々（内技術士補：1名）にご協力をいただきました。

表-2.2：出前講座支援スタッフ名簿

NO.	氏名	所属	技術部門ほか
1	アキツキ ヒトシ 秋月 均詞	徳島県OB (株)エコー建設コンサルタント	建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋) 一級土木施工管理技士, 測量士
2	ジャノメ タカオ 蛇目 卓央	(株)エコー建設コンサルタント	建設部門(道路) RCCM(鋼構造及びびコンクリート) 道路橋点検士
3	ヤマモト ヒデキ 山本 秀樹	徳島県OB エスシー企画(株)	建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋) 一級建築士, 測量士, 下水道技術検定(2種), 一級土木・造園・ 管工事・建築施工管理技士
4	フジモト エミ 藤本絵美	エスシー企画(株)	技術士補 RCCM(鋼構造及びびコンクリート, 土質及び基礎) 道路橋点検士, 測量士
5	アマノ ヒロシ 天野 大	徳島県OB (株)エフ設計コンサルタント	総合技術監理部門(建設-建設環境) 建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋/建設環境) 上下水道部門(下水道),環境部門(自然環境保全),一級建築士
6	マツノ キヨシ 松野 清司	(株)環境防災	建設部門(道路) RCCM(道路・鋼構造及びびコンクリート他6部門), 測量士 一級土木施工管理技士
7	ニキ シン 仁木 伸	技術士事務所NSサポート	衛生工学部門(廃棄物管理)
8	ハヤシ ヨシヲ 林 良範	(一社)四国クリエイト協会 徳島支所	建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋) 河川維持管理技術者 公共工事品質確保技術者(Ⅰ)
9	トヨサキ ユウジ 豊崎 裕司	四国建設コンサルタント(株)	総合技術監理部門(建設-鋼構造及びびコンクリート) 建設部門(鋼構造及びびコンクリート), 博士(工学)
10	ナカマ マキ 仲間 真紀	四国建設コンサルタント(株)	総合技術管理部門(応用理学-地質) 応用理学部門(地質) 地質リスクエンジニア
11	モリ トモヤ 森 友哉	四国建設コンサルタント(株)	建設部門(鋼構造及びびコンクリート)
12	ナカ ヒロユキ 奈加 博之	ニタコンサルタント(株)	建設部門(道路) RCCM, 測量士, 一級土木施工管理技士
13	マツモト コウジ 松本 晃治	ニタコンサルタント(株)	総合技術監理部門(建設-河川,砂防及び海岸・海洋) 建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋/港湾及び空港/建設環境) RCCM, 測量士, 一級土木施工管理技士
14	フジタ マサト 藤田 真人	ニタコンサルタント(株)	総合技術監理部門(建設-建設環境) 建設部門(建設環境) 環境部門(環境影響評価)
15	ミヤズミ カツヒコ 宮住 勝彦	(株)松本コンサルタント	建設部門(鋼構造及びびコンクリート) 一級建築士, コンクリート診断士, コンクリート技士, APECエンジニア 一級建築施工管理技士, ファシリティマネジャー
16	ハントウ ヨシカ 坂東 義隆	徳島県OB (株)松本コンサルタント	建設部門(道路) RCCM(鋼構造及びびコンクリート) 土木学会認定上級技術者(交通), 測量士, 一級土木施工管理技士
17	カガ コウジ 加賀 晃次	(株)フジみらい	総合技術監理部門(建設-鋼構造及びびコンクリート) 建設部門(鋼構造及びびコンクリート), 博士(工学), RCCM 測量士, 一級土木施工管理技士, 一級造園施工管理技士
18	オオテラ レイコ 大寺 礼子	(株)フジタ建設コンサルタント	総合技術監理部門(建設-河川,砂防及び海岸・海洋) 建設部門(河川,砂防及び海岸・海洋)
19	ヤマグチ ヒロアキ 山口 博昭	(株)エフ設計コンサルタント	建設部門(道路), RCCM, 測量士
20	ヤマムラ タケシ 山村 猛	エスシー企画(株)	建設部門(道路), 博士(工学) RCCM(鋼構造及びびコンクリート他2部門), 測量士補 一級土木施工管理技士

注)網掛は、女性支援スタッフを示す。

3. 出前講座の実施状況

(1) 第25回 (3C)

1) プログラム

建設コース3年生(26名)に対する講座プログラムを、以下に示します。

表-3.1: 講座プログラム (3C)

スケジュール	内容	備考
12:50~12:55 (5分)	■はじめに ・はじめのあいさつと本日の予定	司会: 山村 挨拶: 山口
12:55~13:10 (15分)	■ミニ講義「私の仕事」 ・森 友哉 (四国建設コンサルタント(株))	講師: 森
13:10~13:35 1部 (25分) 13:35~14:00 2部 (25分)	■グループワーク ・個人の書いたポストイットを元に、みんなで考えて意見交換してみよう ・自分の書いたポストイットへの意見やアドバイスは、自分で別のポストイットに記録しよう	司会: 山村 グループ進行: 技術士
14:00~14:15 (15分)	■発表 ・学生全員が、各気づきを発表する	司会: 山村
14:15~14:20 (5分)	■おわりに ・おわりのあいさつ → 技術士退場	司会: 山村
14:20~	■アンケート	アンケートは高専対応 →後日回収 技術士は休憩 10分

2) ミニ講義

講座では、はじめに森友哉会員が「私の仕事」と題してミニ講義を行いました。

講義では、「建設コンサルタントの役割と仕事、技術士と建設コンサルタントについて、自身の仕事、建設コンサルタント技術者・技術士になって感じる事等」支援スタッフの中で最も学生に年齢の近い立場から社会人としてのアドバイスをして頂きました。

講座後の学生アンケートでは、多くの学生に「就職した自分を少し想像できた」「建設業に必要なことややりがいを知れた」といった感想が得られました。

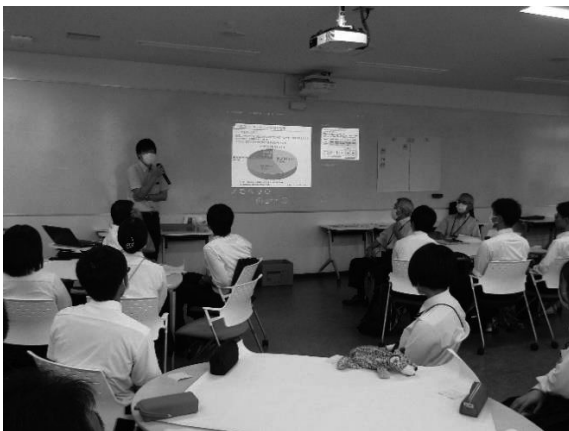


写真-3.1: ミニ講義の状況



写真-3.2: 森会員による講義状況

3) グループワーク

グループワークでは、事前に担任の先生との打合せにより決定した班構成、6班（学生4～5人支援スタッフ3名）で学生が事前に準備した「技術士に訊きたいこと」を模造紙に整理し、学生に質問の意図等を確認しながら最も適当な支援スタッフが回答（アドバイス）する方法で実施しました。

また、後半では、グループワークの再編成を行い、できるだけ多くの支援スタッフと意見交換ができるようにしました。

グループワークの最後には、ワーキング内容のまとめとして、参加学生それぞれに感想を簡単に発表してもらいました。



写真-3.3：グループワークの実施状況



写真-3.4：グループワークの実施状況



写真-3.5：各学生の発表状況

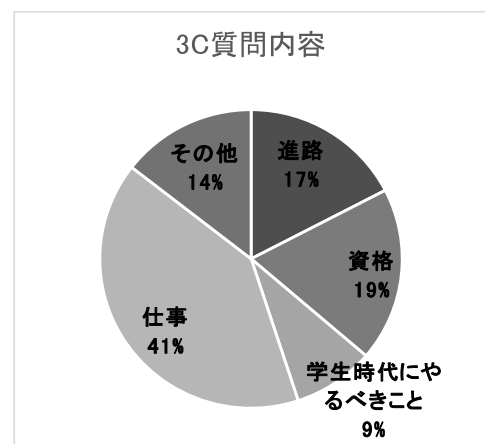


写真-3.6：各学生の発表状況

質問は、仕事内容に関して約4割、資格・進路に関してそれぞれ約2割、学生生活に関して約1割、その他の質問としては、余暇の過ごし方等がありました。

仕事内容に関する質問では、建設業界の業種別仕事内容や支援スタッフ自身の仕事のやりがい、進路の質問では、進学・就職、建築・建設の選択等、将来ビジョンを決めていくための情報収集に関する質問が多く聞かれました。

事後アンケート結果では、本講座に対して、「自分と違う視点からのアドバイスにより新しく気づいた点がたくさんあった。」「これからの進路のとても参考になった。」等の感想を頂くことができました。



(2) 第26回 (4C)

1) プログラム

建設コース4年生(24名)に対する講座プログラムを、以下に示します。

表-3.2: 講座プログラム(4C)

スケジュール	内容	備考
14:30~14:35 (5分)	■はじめに ・はじめのあいさつと本日の予定	司会: 山村 挨拶: 山口
14:35~15:05 (30分)	■ミニ講義「建設業界における私たちの役割」 ・藤本 絵美 (エスシー企画(株)) ・奈加 博之 (ニタコンサルタント(株))	講師: 奈加, 藤本
15:05~15:15 (10分)	■学生発表 ・学生によるコンサルタントに関する調査結果の発表	司会: 山村
15:15~15:35 1部 (20分) 15:35~15:55 2部 (20分)	■グループワーク ・自己紹介 ・個人の書いたポストイットを元に、みんなで考えて意見交換してみよう ・自分の書いたポストイットへの意見やアドバイスは、自分で別のポストイットに記録しよう	司会: 山村 グループ進行: 技術士
15:55~16:00 (5分)	■おわりに ・おわりのあいさつ → 技術士退場	司会: 山村

2) ミニ講義

講座では、4Cで今年度よりされているインターシップ授業の一環で行われました。

「7月はじめにインターンシップ先を学生が決めるために、リアルな情報を学生に知らせたい」とのご要望に応えるため、講義では、卒業生である、藤本絵美氏(技術士補, 高専0G)、奈加博之(高専0B)から「建設業界の仕組みや、その中で講師や所属する会社や組織が、どのような役割を担っているか」等を伝えて頂きました。

講座後の学生アンケートでは、「高専卒の先輩の経歴を知れて、感じたことについて教えてくれて参考になった」「職場で働く人たちの実際の生活がよく分かった」「技術士の方をとても身近に感じる事ができた」といった感想がありました。



写真-3.7: 藤本氏による講義状況



写真-3.8: 奈加会員による講義状況

3) 学生発表

学生が授業の中で事前に調査した内容のうち、代表して「コンサルタントに関する調査結果」を発表していただきました。

発表では、他の業界と比較した特徴や分析結果をわかりやすく発表して頂きました。



写真-3.9：学生の発表状況

4) グループワーク

グループワークでは、事前に担任の先生との打合せにより決定した班構成、6班（学生4～5人支援スタッフ3名）で学生が事前に準備した「技術士に聞きたいこと」を模造紙に整理し、学生に質問の意図等を確認しながら最も適当な支援スタッフが回答（アドバイス）する方法で実施しました。

また、後半では、グループワークの再編成を行い、できるだけ多くの支援スタッフと意見交換ができるようにしました。

質問は、3Cに比べ、インターンシップ先の検討していることもあり、仕事内容に関する質問が約7割と大部分を占め、次いで、資格に関する質問が約2割、進路に関する質問が約1割となりました。

質問内容も、仕事のやりがい、苦労した点、悩んだ内容、労働環境等、将来就職するにあたっての具体的なものが多く挙げられ、就職活動に対する学生の真剣な姿勢を見ることができました。また、事後アンケート結果から学生もスタッフの仕事に対する責任感や建設業界の面白さなどを感じ取ってくれたようです。



写真-3.10：グループワークの実施状況

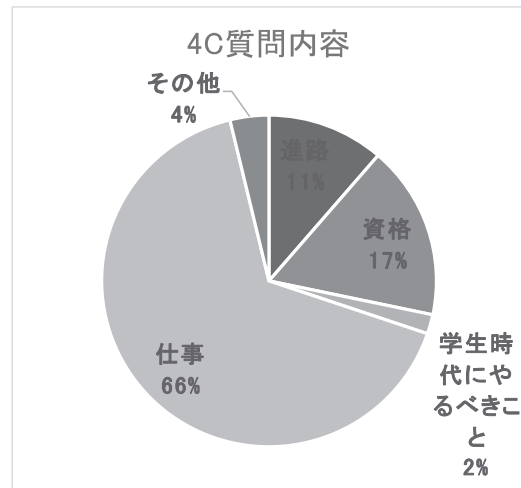


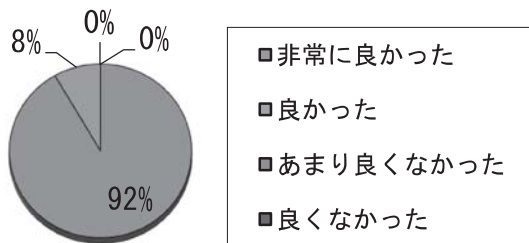
写真-3.11：出前講座4Cクラス参加者集合写真

4. 学生アンケート結果

各出前講座の修了後に、学生に行ったアンケートの結果を以下に示します。

(1) 第25回（3C）

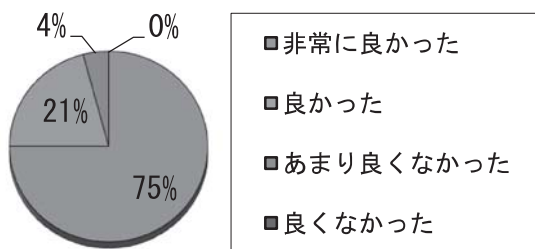
1) 出前講座の主旨について



意見

- ・将来の目標が明確になったから
- ・技術士から直接資格等の話を聞いた
- ・説明がわかりやすかった
- ・いろんな分野のことを聞いて良かった
- ・知らなかった世界や、現実を知れた
- ・技術士について詳しく知れた

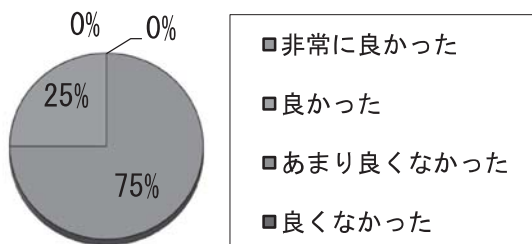
2) ミニ講義について



意見

- ・将来について考えることで、就職した自分を少し想像できた
- ・体験談が聞いて良い勉強になった
- ・スライドがわかりやすく、コンサルについて知ることができた
- ・映像があったのでよりイメージしやすかった

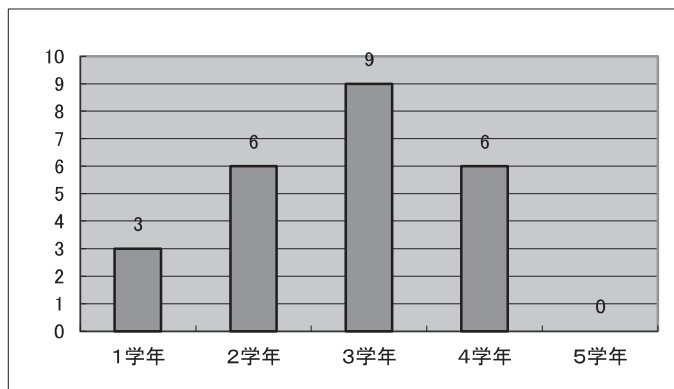
3) グループワークについて



意見

- ・いろんな人の視点からの質問も聞いて参考になった
- ・大人数よりも話しやすく、様々な質問ができた
- ・コンサルの仕事のより具体的な部分を聞いた
- ・積極的に話題が回り、楽しかった

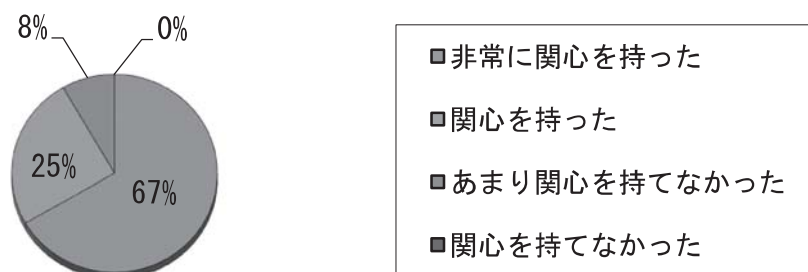
4) 開催時期について



意見

- 1 学年と回答した人の意見
 - ・コース選択の前に講座があるとよいと思う
- 2 学年と回答した人の意見
 - ・専門的な科目を学ぶ時期だから
 - ・早い段階から将来について考えるのが良いと思う
- 3 学年と回答した人の意見
 - ・専門科目がより増えてくるため
 - ・2年生である程度専門を学び、4年生では進路が固まってくるためその間の3年生が良いと思う
 - ・1, 2年生では将来像をイメージしづらいため
- 4 学年と回答した人の意見
 - ・4年生でインターン、オープンキャンパスに参加してから進路を考えたいから
 - ・将来について考える時期に開催してほしいから

5) 技術士資格について

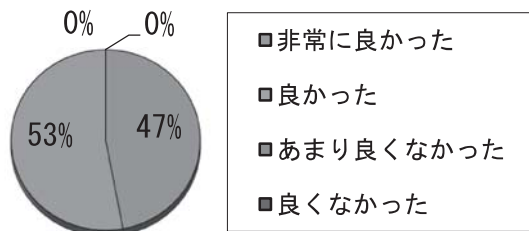


6) その他の意見・感想・要望

- ・定期的で開催してほしい
- ・将来像をより鮮明にイメージできるようになり、とても満足できる内容だった

(2) 第26回 (4 C)

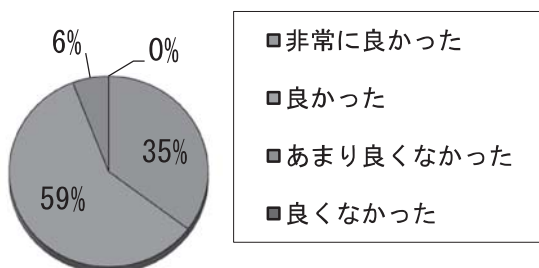
1) 出前講座の主旨について



意見

- ・技術士の方の話を聞くことで、進路選択の役に立った
- ・コンサルの仕事について知ることができた
- ・就職や職業についての意見を多く聞けた

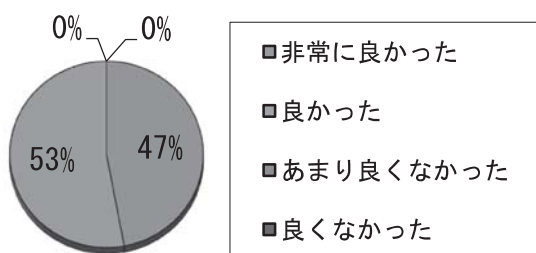
2) ミニ講義について



意見

- ・コンサルの仕事内容や、やりがいについて詳しく知ることができた
- ・コミュニケーション能力等の大事な能力や、就職についての話がとても参考になった
- ・実際に働いている人の生活がよくわかった
- ・阿南高専出身の方もいて、技術士という資格を身近に感じることができた

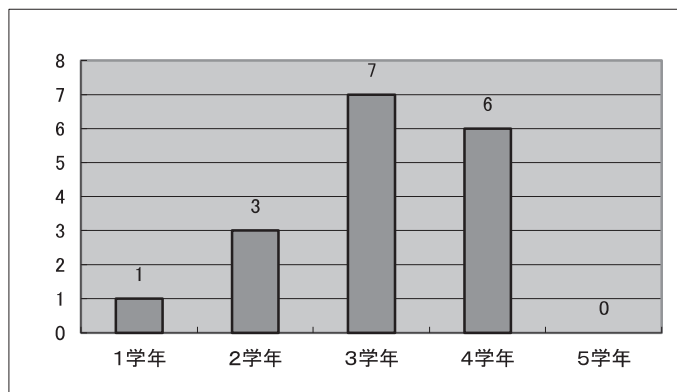
3) グループワークについて



意見

- ・自分の聞きたかった質問ができ、他の人の質問に対する回答も聞くことができた
- ・技術士の方々の話を聞いてためになった
- ・少人数のため、質問しやすかった
- ・聞きたいことを質問できたが、時間が足りなかった
- ・気楽に話げできた

4) 開催時期について



意見

□ 1学年と回答した人の意見

- ・ 1年生ではコース決め，2年生からは進路にかかわってくるから

□ 2学年と回答した人の意見

- ・ 将来についてイメージできないから
- ・ 早くからの選択が良いと思う
- ・ 4年生では進路についてある程度決まってくるので，進路が定まっていない早い段階で開催するのが効果的だと思う

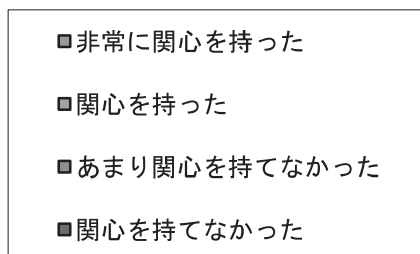
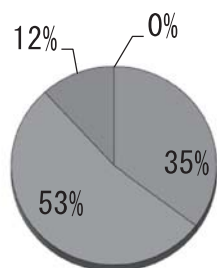
□ 3学年と回答した人の意見

- ・ 自分が進路について考え始めた時期だから
- ・ 4，5年生だと時間的に余裕がないため

□ 4学年と回答した人の意見

- ・ 4年生より下の学年では進路について深く考えていないと思うから
- ・ 就職活動に役に立つと思う
- ・ インターンシップ等，就職先について本格的に考え出す時期だから
- ・ 自分たちが実際に参加してちょうどよいタイミングだと感じたから

5) 技術士資格について



6) その他の意見・感想・要望

- ・ 努力は必要だが，将来の役に立つと思った

5. 支援スタッフ及び先生の意見

各講座の後に実施した反省会で挙げられた意見を、次に示します。

表-5.1：反省会のまとめ

項目	主な意見
グループ分け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4人中3人までしか回答できなかったケースがあったので、時間配分の見直しまたはグループ人数の縮小が必要だと感じる ・ もう少し少人数のグループ（技術士1名に学生2名）が良い ・ 進路希望に沿ったグループ分けがあれば良い（グループの細分化） ・ 分野で分けてテーブル（グループ）設定など、質問したい分野のところにに行ける工夫があると良い
運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望職種を事前に整理すべき ・ 部門が異なる立場で出席したが、今後とも様々な部門が参加しやすいように配慮願いたい ・ 集中して2コマすると準備側としてはよかったので来年も機会があればこのままで、グループの分野を明確にしてスタッフを募るべきだと思う ・ かなり声を張らないといけないため、対策が必要
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1部・2部制にしなくても、1部制でじっくりも良い ・ 3C、4Cともに日を改めるべき ・ 「グループワークの1部+2部」について、1部制の方がより学生と情報交換できると思う ・ もう少し時間が必要、3年と4年を分けてはどうか ・ 3年と4年を同時に行うには時間的に厳しいので、2回に分けた方が良い
質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた時間の中で多くの情報を早口で伝えたので、学生がどう感じたのか気になる ・ 将来に向けて学生に伝えたい一言をあらかじめまとめて伝えるのが良い ・ あらかじめ質問が分かっていた方が端的に答えられて良い

(2) 集合写真



写真-5.1：第25回、第26回出前講座スタッフ集合写真